



甲子園優勝投手

たいせい

清水大成さんと夢を語ろう

第101回全国高等学校野球選手権大会で、履正社高校（大阪府）の投手として、甲子園優勝を勝ち取った清水大成さん。丹波市出身の彼は、これまでどんな日々を過ごし、これからどんな未来へ羽ばたいていくのでしょうか。
新春特別企画として、清水さんと谷口市長が対談しました。



たいせい

清水大成さん（18歳）身長176cm 体重76kg
経歴：東小学校→氷上中学校→履正社高校（大阪）
小学生時代に地元の少年野球「東レッドソックス」で練習を積み、中学生時代は丹波篠山市を拠点に活動する硬式野球チーム「ベースボールネットワーク」に所属。履正社高校進学後は、1年からベンチ入りを果たし、3年では春・夏2度の甲子園を経験。最速145キロのストレートやスライダーなどの変化球が持ち味。

市長 まずは、令和元年夏の甲子園優勝おめでとうございます。優勝した時はどう思いましたか。
清水 ありがとうございます。当初はあまり実感がなかったのですが、日を追うごとに周りの人の反応で「優勝したんだな」ということを実感してきました。優勝後に丹波市に帰省した時は、知らない人にも声をかけられてびっくりしました。
市長 マウンドで緊張しませんでしたか。
清水 緊張というよりは、目の前のバッターに集中して投げました。ピッチャーはメンタル面が大きく試合に影響するので、小さい頃から「平

第101回全国高等学校野球選手権大会で履正社高校（大阪）が優勝



決勝戦で力投する清水さん（丹波新聞社提供）



優勝旗を手にした履正社高校（丹波新聞社提供）



甲子園での思い出を熱く語る清水さん

常心」を常に心掛けてプレーするようになっています。失敗しても引きずらないように、切り替えることが大切です。人間なので気持ちのゆれはありますが、高校3年間でより成長したかなと感じています。

市長 野球はチームとして1つになることが大切です。選手間の統率はどうやって取っていたのですか。

清水 春の選抜大会で初戦敗退してから、チームとしても一度気を引き締めたことで、チームの方向性が統一されたと思います。履正社高校ではあまり上下関係を意識せず、一体感や総合力で勝てるように努力しています。

市長 優勝するまでに何度か試合があったと思いますが、どのシーンが一番に残っていますか。

清水 準々決勝の関東第一高校との試合で、初回いきなりスリーラン

ホームランを打たれた時です。打たれた瞬間にホームランになると思ったのですが、大会を通して自分のチームの打線の調子が良かったので、ここから0点に抑えたら逆転してくるだろうと、打線を信じて投げました。本当に逆転してくれたので、嬉しかったです。

丹波の地で野球の基礎力を磨く

市長 清水さんが野球を始めたきっかけは何ですか。

清水 父とのキャッチボールをきっかけに野球を始め、小学3年生の時に東レッドソックスに入団しました。左投げということもあり、当初からピッチャーを目指していました。

市長 いつごろ甲子園を目指そうと決められたのですか。

清水 中学から丹波篠山市が練習拠



東レッドソックスで活躍する小学3年生の頃の勇姿

点の硬式野球チーム「ベースボールネットワーク」に所属しました。チームの練習内容や練習量が自分にとって厳しいものだったので、心身ともに成長できた3年間でした。そこで声をかけていただいた高校が、大阪で1位2位を争われている強豪校だったので、甲子園を目指そうと思いました。

下宿生活で練習に励む

市長 現在は大阪に住んでいるのですか。

清水 高校から大阪で1人暮らしを始めたので、入学当初は掃除や洗濯など何から手をつけたらいいのかわからず、苦労しました。朝夕食事つきの下宿でしたが、いろいろな面で親のありがたみを改めて感じました。

市長 普段はどのくらい練習しますか。

清水 平日は4時間半、土曜は午後、日曜は1日練習します。あまり休みが無いので、丹波市には年末くらいしか帰って来られません。大阪は高い建物ばかりなので、帰省して山を

見ると、地元に戻ってきたなという感じでほっとします。

「感謝」の気持ちを忘れずに

市長 高校卒業後の予定は。

清水 東京の早稲田大学に進学して、野球を続けます。東京の大学には有力な選手が集まってきて全体的にレベルが高いので、進学後は色々と考えながら4年間しっかりとレベルを上げたいと思います。

市長 将来の夢を教えてください。

清水 高校で日本一になったので、大学でも日本一を目指して頑張りたいです。そしてその上のステージ（プロ）にも挑戦したいと思っています。

市長 やはり夢は大きく持ったほうがいいですね。市では昨年9月に市民憲章を作ったのですが、その一節に「おかえり」を合言葉にみんなが家族のように暮らします」という文章があります。清水さんのように丹波市から出て挑戦をされる人に対して、地元からの応援の気持ちや地元の温かみを表しています。ぜひ今後も頑張ってください。

清水 ありがとうございます。友だちや地元の人から応援メッセージをいただき、甲子園でも応援してもらって本当に感謝しています。感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきたいと思っています。